

平成30年度 学校評価シート

評価領域	進路指導部
------	-------

目標の設定 (Plan)

重点目標	生徒一人ひとりの進路実現の達成。
------	------------------

現 状	全体的に進路意識は高いとはいえないが、中には進路目標を定め努力している生徒もいる。学習習慣は十分に身につけているとはいえない。
-----	---

具体的な目標	大学入試に対応できる学力の養成ならびに基礎学力の定着。
--------	-----------------------------

目標達成のための方策	授業、補習を通しての学習習慣の定着と学力向上。 進路行事による保護者ならびに生徒の進路意識の啓発。
------------	--

実践 (Do)

具体的な取組状況	朝学習、週ごとの課題の徹底。センター試験に対応できる授業展開と補習(全員)。学習オリエンテーション(1年)、進路講演会(生徒・保護者)、進路別ガイダンス等、進路行事の実施。
----------	--

達成状況	課題の提出状況は全体的に良好である。看護医療系インターンシップ、県外大学見学会(1、2年)、県立大訪問(1年、2年理系)、進路別ガイダンス(2、3年)等の実施により進路意識を啓発することができた。進路分析会を1年は2月、2年は3月に実施予定。
------	---

自己評価 (Check)

評価基準	A : 具体的な活動が示され目標を達成できた。 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない。 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない。
------	---

自己評価	評価	根 拠
	B	国公立大学合格24人(1/18現在)である。生徒一人一人の進路実現に向け年度末まで努めたい。

学校関係者評価と意見	評価	意 見
	A	進路実績も順調であり、評価はAでよろしいのではないかと。AO・推薦入試についてはこれからも生徒の実態を踏まえ活用して欲しいが、センター試験に対応できる学力も身に付けさせて欲しい。

改善した実践 (Action)

自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策	引き続き授業ならびに補習を通して、大学入試に対応できる学力ならびに基礎学力の定着に努めたい。また次年度から始まる「総合的な探究活動」を充実させ、生徒には国公立大学の志望理由書や面接に対応できる知識を蓄積させていきたい。
-----------------------	---